

トムス プリウス リヤアンダースポイラー Wタイプ

このたびはトムス リヤアンダースポイラー(以下リヤアンダー)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。

本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。(2016年6月)

トヨタ プリウス ZVW5# 平成27年11月～ トヨタ純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。

トムスパレル 品番17400-TZW55/56と同時装着をしてください。

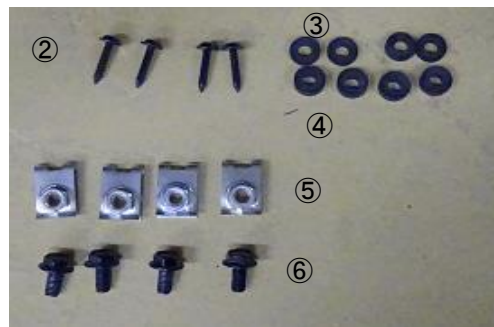
ノーマルマフラー及びトムスパレル4テール 品番;17400-TZW51/52をご使用の場合は品番;52159-TZW50-#をご使用ください。

取り付け上のご注意 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

- 1.リヤアンダー取り付け作業は、必ず作業者2名で行ってください。
- 2.リヤアンダー脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルト等はしっかり締めてください。
また、走行前にゆりみがないかチェックしてください。
リヤアンダーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
- 3.車両をジャッキアップする際は、必ずリジットラック等で車両を固定してください。
- 4.塗装に際しては以下の点にご注意ください。
(詳しくは「リヤアンダー素地品の塗装手順」を参照の事)
ボディコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディコートは塗装用コンパウンド(細目以上)で剥離し、アルコールなどで拭き取り除去してください。
- 7.両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼付けを行ってください。
- 8.両面テープの接着力防止のため、本製品の装着直後(24時間以内を目安)の洗車は行わないでください。
両面テープの貼り直しをすると接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
- 9.純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
- 10.リヤアンダー装着により、リヤバンパーより、全長約10mm、地上高約-13mm低くなります。
- 11.本製品は車両登録後の取り付けを前提としております。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。
- 12.塗装済み品につきましては使用している材料の違い等により車両本体の色と完全に一致しない場合があります。

構成部品 本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

【リヤアンダー 構成部品】



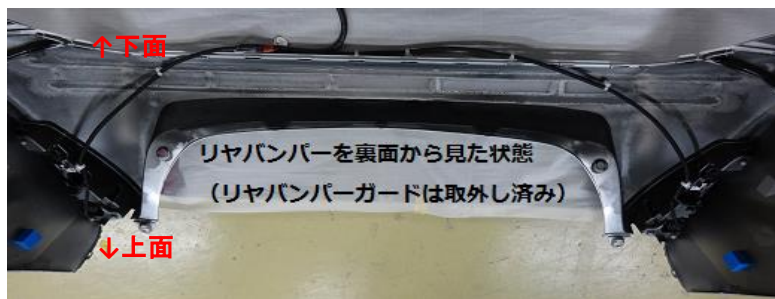
- ①リヤアンダースポイラー x1
- ②タッピングスクリューx4(M4x20mm)
- ③ゴムワッシャー 3mmx4
- ④ゴムワッシャー 5mmx4
- ⑤スピードナットx4
- ⑥ボルトx4(M6x12mm)
- ⑦プライマー
- ⑧ブラケットx2(4WD車用)
- ⑨ボルト M6x4(4WD車用)
- ⑩ナット M6x4(4WD車用)
- ⑪ワッシャーx2(4WD車用)

取付要領

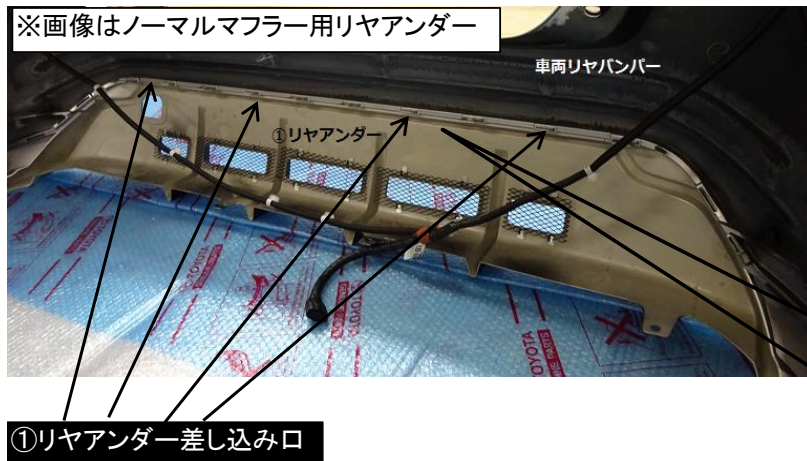


1.車両のリヤバンパーを取り外す。
詳細はトヨタ自動車(株)発行「整備要領書」を参考に
にする。
※リヤバンパーを取り外したビス、クリップ類は
リヤバンパーを復元する際に再使用しますので
紛失等ないようにしてください。

※専用マフラーを装着にあたり、アンダーカバー
(運転席、助手席)も取り外す。



2. 取り外したリアバンパーからリアバンパーガードを取り外す。
(左図参照)



3. リアバンパーガードを取り外したリアバンパーに
①リアアンダースポイラーを差し込み、左図を参考に
⑤スピードナット、⑥ボルトを使用し取付ける。
取り外した配線の差し込みを復元する。

※画像はノーマルタイプですが、取り付け方法は同じです。

注意！

⑤スピードナットを差し込む向きに注意する。リアバンパー裏面から見た状態で必ず左側から差し込む。
[①リアアンダー差し込み口拡大 参照]



5. ①リアアンダーを組み付けた車両リアバンパーを車両へ仮装着をする。
※1. で外した車両ビス、クリップを再使用する。

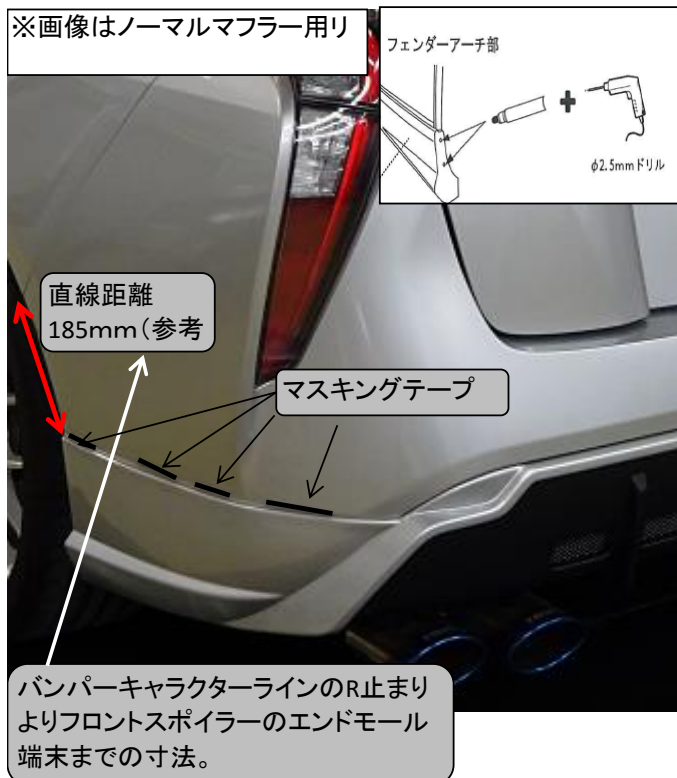
6. ①リアアンダーの車両側面部の両面テープ貼り付け位置を左図を参照に確認する。

7. ①リアアンダー装着位置をマスキングテープでマーキングをする。

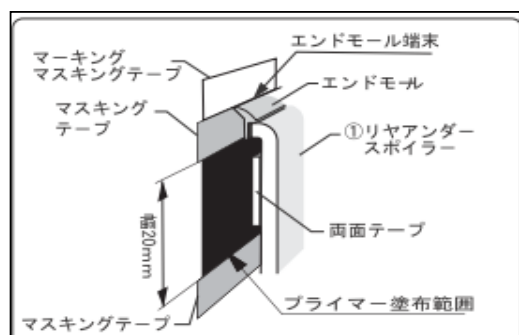
8. ①リアアンダーの両面テープ貼り付け位置を確認し、フェンダーアーチ折り返し部分に②タッピングスクリー穴を2.5mmドリルを使用し穴開けをする。穴あけ作業が終了したら一度リアバンパーを取り外す。

注意！

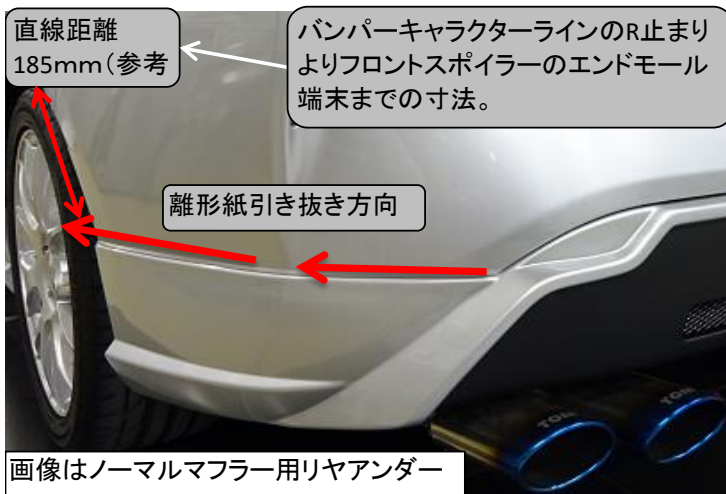
穴をあける時、両面テープがバンパーに面あたりしているか確認をする。



9. ①リアアンダーの両面テープ貼り付け位置に⑦プライマー塗布範囲マスキングテープでマスキングする。(下図参照)



10. ⑦プライマー塗布をする、



注意！

塗布範囲は、エンドモール端末からのみだしがないように気をつけて作業を行う。

注意！

プライマー使用に際しては、3M PACプライマー N200取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態: 23℃で10分~3時間ほこり。汚れ水滴が付着しないように十分に乾燥させる。
気温15℃以下では、加熱器を使用して温める。
塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。

9.⑦プライマー塗布作業を終えたら①リヤアンダーの両面テープ離形紙を5mm程剥がし、①リヤアンダー表面へマスキングテープ等で貼り付ける。

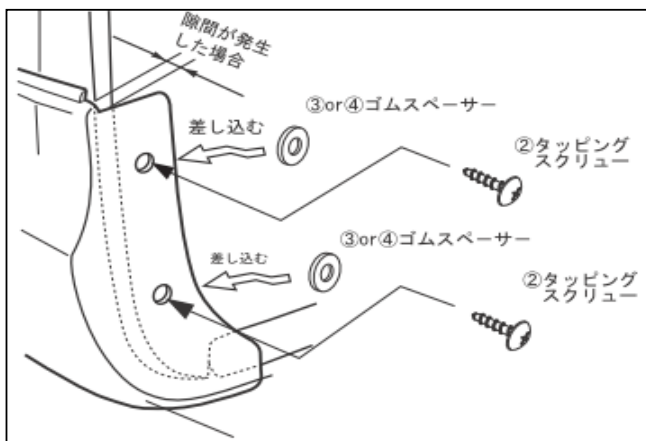
10.①リヤアンダーを組み付けたリヤバンパーを車両へ装着する。

11.取り付け位置、左右バランスを確認して車両中央からタイヤ側に向かってテープ離形紙を引き抜きながら圧着をする。車両各ビス、クリップをつける。



注意！

両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、ボディーにつかないように気をつけて作業をおこなう。



12.フェンダーアーチ部に隙間ができる場合は左図を参照に適した③、④ゴムワッシャーを挟み込む。

注意！

フェンダーアーチ部のタッピングスクリューを締めすぎますと破損、変形の原因となります。また、圧着された両面テープに隙間を発生させる原因となる恐れがございます。

(お問い合わせ先)

株式会社 トムス

TEL: 03-3704-6191

月~金 AM9:00~PM5:00

TOM'S

リヤアンダースポイラー Wタイプ素地品の塗装手順

※素地品は塗装前に必ず仮取付けをして、各部に不具合がないか確認をしてください。

塗装後のクレームには応じません。

構成部品

- | | |
|------------------------|------------------|
| ①リヤアンダースポイラーx1 | ⑧ブラケットx2(4WD車用) |
| ②タッピングスクリューx4(M4x20mm) | ⑨ボルト M6x4(4WD車用) |
| ③ゴムワッシャー3mmX4 | ⑩ナット M6x4(4WD車用) |
| ④ゴムワッシャー5mmX4 | ⑪ワッシャーx2(4WD車用) |
| ⑤スピードナットx4 | |

⑥ボルトx4(M6x12mm)

⑦プライマー

⑧エンドモール(ブラック、グレー)x各1

※塗装、作業前に不足品がないか必ずご確認ください。

I. 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. 塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は60度以下で行うこと。

注意！

本製品はABS樹脂製のため適切な塗料を使用する。

注意！

60度以上の加熱は製品変形の恐れがある。

II. モールの貼付け作業

1. 塗装終了後、⑧エンドモールを仮付けをする。
2. ⑧エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑦プライマーを塗布する。

3. 右図の要領で⑧エンドモール離形紙を剥がしながら貼り付け後、指示の位置に合わせてカットをする凸アール部は、ハサミで切り込みを入れる。

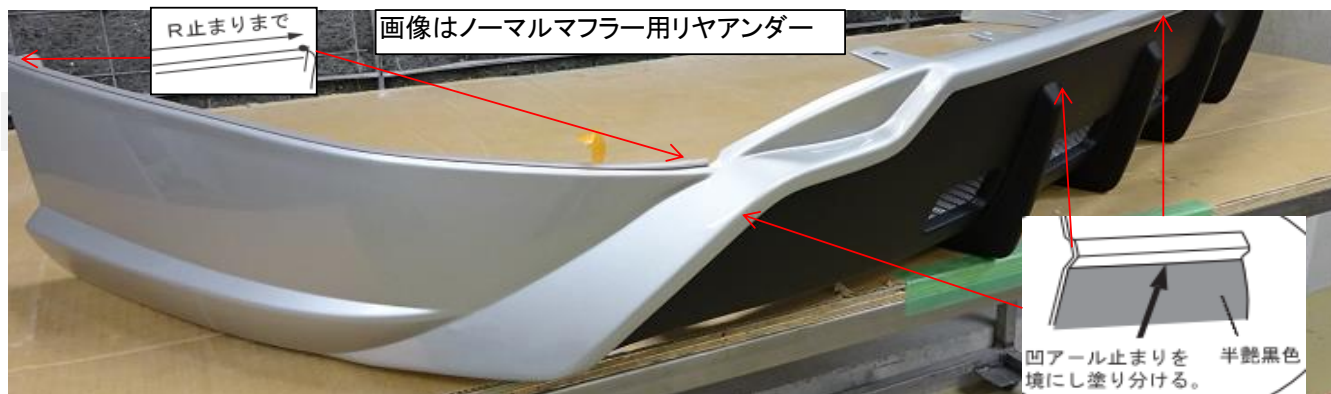
モールの圧着の際は、49N(5kgf/cm²)以上で圧着する。

注意！

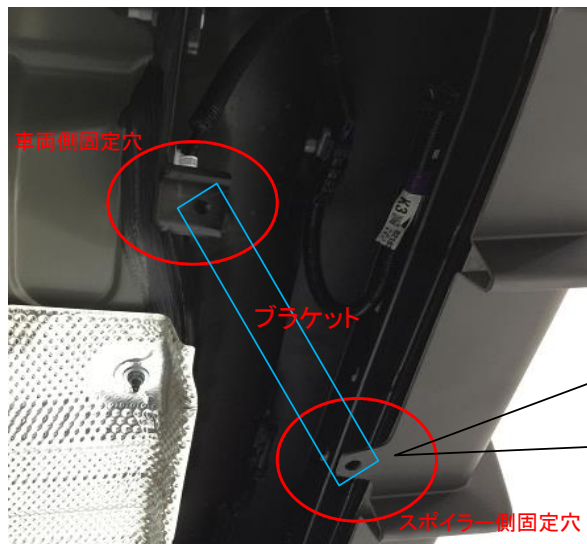
プライマーが塗装面に付着すると、塗装を傷めるためはみ出し等に気をつけて作業をする。



※半艶黒色塗り分けを行う。



リヤアンダースポイラーWタイプ 4WD車取り付け補足



下面からの矢視図

●⑧4WD用ブラケットを左図参照にあてがい
⑨～⑪のボルト、ナット、ワッシャーを使用して
固定する。

(片側も同様に作業する。)

⑨M6ボルトと⑪スポイ
ラーの間に⑩ワッシャーを
挟み込む。



⑨M6ボルト

⑩ワッシャー